第1回全日本硬式空手道＆フルコン空手道選手権大会
’26拳真祭ワールド空手グランプリ

1. フルコンタクト空手部門　2. 硬式空手道部門 ※一社）全日本硬式空手道連盟規定に準ずる
3. 型部門（自由型）＊一社)全日本硬式空手道連盟ルール規定に準ずる ＊予選は時間制限あり
4. フルコン２ウェイシステム部門（4 人制トーナメント全員入賞）
5. 硬式空手２ウェイシステム部門 ＊新規導入（4 人制トーナメント全員入賞）
6. 新（硬式）ルール名称「ケイオス-MAX」Jr. 部門 ※ヘルメット（K-プロ面, スーパーセーフ面）のみ着用のキックボクシングルール（アマチュア参加可）ポイント制　学年別トーナメント

拝啓
皆様におかれましては、日々ご健勝の事とお喜び申し上げます。
今年 9 月 15 日(月曜祝日)に開催された「第 4 回 W.M.K.O 世界マーシャルアーツ(武道)空手道選手権大会」はルーマニア支部より海外空手選手団の来日を得て、昨年に引き続きフルコンタクト空手、硬式空手及び新(硬式)ルール「ケイオス-MAX」の各カテゴリーに様々なスタイルの空手各会派、格闘技及び海外空手選手が一同に会する国際交流世界大会となりました。
9/15 の大会は、新ルール「ケイオス-MAX」はイタリアのキックボクシング連盟の正式認定を受けた日本コミッショナー認定トーナメント試合となりました。次回、一般部「ケイオス-MAX」トーナメントは来年 5 月に「第 2 回硬式空手&フルコン空手グランドフェスティバル」 会場：駒沢オリンピック公園総合運動場体育館にて開催予定でございます。宜しくお願い申し上げます。

さて、新年 1 月 31 日(土曜日)に開催する”第 1 回全日本硬式空手道＆フルコン空手道選手権大会”同時開催として’26 拳真祭ワールド空手グランプリは、毎年開催する全日本大会として位置付ける事となります。
今回の全日本大会へのご参加宜しくお願い申し上げます。
多くの空手流会派、団体の皆々様のご賛同とご協力を得て子供達の選択肢の多い、あきらめない(ルールによる過酷な稽古と試合)空手道の普及と促進に邁進する所存でございます。
＊安全対策に万全を尽くし多くの道場、団体様のご協力とご父兄の皆様のご理解を得て大会実施して参りたいと存じます。何卒、宜しくお願い申し上げます。敬具

令和 7 年 9 月吉日

大会最高審判長	羽山威行
大会審判長	内田和久
大会実行委員長	佐藤真之
大会館長代行	羽山將太
大会 IT 委員長	小藪光佳
大会運営委員長	松本啓司
大会副運営委員長	羽山大基

主催	国際 F.S.A 拳真館空手道連盟 総本部
共催	一般社団法人 全日本硬式空手道連盟
主管	W.M.K.O 世界マーシャルアーツ（武道）空手道連盟
開催日	２０２６年１月３１日（土曜日）
場所	東京武道館１階 大武道場(メインアリーナ) 大観客席使用 〒120-0005 東京都足立区綾瀬３丁目２０－１　℡03-5697-2111
カテゴリー	1. フルコンタクト空手部門 2. 硬式空手部門＊一社)全日本硬式空手道連盟ルール規定に準ずる 3. 型試合部門(自由型)＊予選は時間制限あり。＊一社)全日本硬式空手道連盟ルール規定に準ずる。 4. フルコン２ウェイシステム　幼年～高校生（４人制トーナメント全員表彰） 《新規導入部門》 5. 硬式空手２ウェイシステム　幼年～高校生（４人制トーナメント全員表彰） ２ウェイシステム参加資格：試合経験が無い選手、又は拳歴の浅い入賞経験(過去に３位・準

優勝･優勝)のない選手が対象。2 ウェイシステム大会での入賞実績は参加資格に関係ありませんので、過去の 2 ウェイシステム大会の入賞者も出場可能です。
「2 ウェイシステムとは、4 人だけのトーナメントを組み、1 位～3 位までの全員を表彰するシステムです。強い者だけが勝ち残る、優勝者以外が全員捨て石になる、このような考え方を是正するために作られたルールでございます。どなた様も奮ってご参加ください。」
6. 新(硬式)ルール名称「ケイオス-MAX」※ヘルメット(K-プロ面,スーパーセーフ面)のみ着用のポイント制、キックボクシングルール(アマチュアのみ参加可)

表彰

優勝、準優勝者にはトロフィーと賞状を授与します。
2 ウェイシステムの優勝、準優勝者にはメダルと賞状を授与します。
※海外の選手が参加したクラスは例外として授与します。

時間

開場・受付	午前９時３０分
開会式	午前１０時３０分
表彰	コート表彰式

参加費用

フルコンタクト空手	￥７,０００
硬式空手	￥７,０００
型試合のみ	￥５,０００
２ウェイシステム (フルコンタクト空手・硬式空手)	￥６,０００
ケイオス MAX ジュニア	￥６,０００
ダブルエントリー（型＋組手）	組手の参加費＋￥１,０００

※ダブルエントリーの選手は申込書を種目別に必ず２枚提出してください。
※型＋組手のダブルエントリーができます。今回は組手＋組手のダブルエントリーは不可となります。
※試合が重ならない様に調整しますので、奮ってご参加下さい。

申込み締切り

２０２５年１２月１５日(月)必着 ※申込書不足分はコピーして下さい。

申込み方法

所定の申込書に記入捺印の上、参加費と共に**必ず現金書留で郵送してください**。
参加費は団体責任者が一括して参加申込み用紙を、現金書留にて締切日までに郵送してください。申込用紙のみ、参加費のみ、メール又は FAX のみの申込みは受付けません。

注意事項

① 選手は事前に健康診断を必ず受診してください(診断書提出不要)。
② スポーツ保険に各自加入してください。(保険は 4 月での更新の場合が多いのでご注意ください)また、試合当日は万一のため健康保険証の持参をお勧めいたします。
③ セコンドは 2 名とし、正装にてお願いします。また、過激な応援はご遠慮下さい。
④ 試合中負傷または事故が生じた場合、主催者は一切責任を負いません。
⑤ 何らかの理由で参加不可能となった場合必ず大会事務局まで連絡してください。
⑥ 大会事務局に納入した参加費はいかなる理由があろうとご返却出来ません。
⑦ ゼッケンは大会当日、各団体一括でお渡しします。
⑧ 審判員・スタッフには昼食を用意致します。選手は各自ご用意ください。
⑨ 出場選手の肖像権は主催者に帰属します。各種報道機関等が取材する場合がありますが、映像や画像が放映、掲載される場合があることをご了承ください。
⑩ 女子クラスの道着の下へのＴシャツ着用は、白色のみ認めます。
男子クラスのＴシャツ着用は、禁止となります。
⑪ 試合用マウスシールドは各自で用意し着用する。
⑫ **試合開始時にファールカップがない場合は失格とします。大会側からの貸出は行ないませんので、忘れないようにご注意ください。**
⑬ **試合について選手セコンドその他の審判、主催者側への抗議、クレームは一切受け付けません。万が一あった場合は、その選手は失格とします。又、団体自体の退場もあり得ます。**

送付宛先

〒166-0003　東京都杉並区高円寺南 4-28-2 第二高円寺 603 号
「第 1 回全日本硬式空手道＆フルコン空手道大会実行委員会」宛て
TEL 3-5378-6036 ※転送の場合は留守電にメッセージを入れてください
携帯 070-5029-1110（佐藤）メール：m-satou.rb@hotmail.co.jp

― 大会種目 ―

★フルコンタクト空手ルール ジュニア部門

種目番号	種目名	種目番号	種目名
01.	幼年クラス男女混合【級の区分けなし】	14.	小学５年男子　初中級【５級･黄帯まで】
02.	小学１年男子　初級【白・オレンジ帯・９級まで】	15.	小学５年男子　上級【４級･緑帯以上】（黒帯可）
03.	小学１年男子　中上級【８級・青帯以上】（黒帯可）	16.	小学５年女子（黒帯可）
04.	小学１年女子（黒帯可）	17.	小学６年男子　初中級【５級･黄帯まで】
05.	小学２年男子　初級【９級・オレンジ帯まで】	18.	小学６年男子　上級【４級･緑帯以上】（黒帯可）
06.	小学２年男子　中上級【８級・青帯以上】（黒帯可）	19.	小学６年女子（黒帯可）
07.	小学２年女子（黒帯可）	20.	中学男子軽量級(50kg 未満)（黒帯可）
08.	小学３年男子　初級【７級・青帯まで】	21.	中学男子中量級(60kg 未満)（黒帯可）
09.	小学３年男子　中上級【６級・黄帯以上】（黒帯可）	22.	中学男子重量級(60kg 以上)（黒帯可）
10.	小学３年女子（黒帯可）	23.	中学女子（黒帯可）
11.	小学４年男子　初級【７級・青帯まで】	24.	高校男子軽中量級(60kg 未満)（黒帯可）
12.	小学４年男子　中上級【６級・黄帯以上】（黒帯可）	25.	高校男子重量級(60kg 以上)（黒帯可）
13.	小学４年女子（黒帯可）	26.	高校女子（黒帯可）

＊参加人数によりクラスの統廃合を行う場合があります。予めご了承ください。

★ フルコンタクト空手ルール 一般男子・女子・マスターズ部門

27.	一般女子軽量級(52kg 未満)(黒帯可)	32.	(初級)白帯～青帯　一般男子重量級(70kg 以上)
28.	一般女子重量級(52kg 以上)(黒帯可)	33.	(中級)黄帯～緑帯　一般男子軽中量級(70kg 未満)
29.	マスターズの部(40 歳以上 70kg 未満)(黒帯可)	34.	(中級)黄帯～緑帯　一般男子重量級(70kg 以上)
30.	マスターズの部(40 歳以上 70kg 以上)(黒帯可)	35.	(上級)茶帯以上　一般男子上級軽中量級(70kg 未満)
31.	(初級)白帯～青帯　一般男子軽中量級(70kg 未満)	36.	(上級)茶帯以上　一般男子上級重量級(70kg 以上)

＊参加人数によりクラスの統廃合を行う場合があります。予めご了承ください。

★ 硬式空手道部門（防具付き顔面突き有りポイント制ルール）
＊一社)全日本硬式空手道連盟ルール規定に準ずる

37.	幼児男女混合	48.	高校２年生男子	59.	高校１年生女子
38.	小学１年生男子	49.	高校３年生男子	60.	高校２年生女子
39.	小学２年生男子	50.	小学１年生女子	61.	高校３年生女子
40.	小学３年生男子	51.	小学２年生女子	62.	一般女子 55kg 以下
41.	小学４年生男子	52.	小学３年生女子	63.	一般女子 55kg 超級
42.	小学５年生男子	53.	小学４年生女子	64	シニア女子 40 歳以上
43.	小学６年生男子	54.	小学５年生女子	65.	一般男子 60kg 以下
44.	中学１年生男子	55.	小学６年生女子	66.	一般男子 70kg 以下
45.	中学２年生男子	56.	中学１年生女子	67.	一般男子 70kg 超級
46.	中学３年生男子	57.	中学２年生女子	68.	シニア男子 40 歳以上
47.	高校１年生男子	58.	中学３年生女子	69.	シニア男子 50 歳以上

＊参加人数によりクラスの統廃合を行う場合があります。予めご了承ください。

★型部門　＊一社)全日本硬式空手道連盟ルール規定に準ずる　＊予選は時間制限あり

70.	小学１～２年生男女	73.	中学生男子	76.	一般女子（１６歳以上）
71.	小学３～４年生男女	74.	中学生女子	77.	一般男子（１６歳以上）
72.	小学５～６年生男女	75.	シニア男女混合（50 歳以上）		

＊参加人数によりクラスの統廃合を行う場合があります。予めご了承ください。

★フルコンタクト空手 2 ウェイシステム（フルコンタクト空手ルール・４人制トーナメント全員表彰）
出場資格：未だ優勝、準優勝、3 位入賞経験の無い選手が対象
(2 ウェイシステムでの入賞経験や一回勝っただけの優勝、準優勝、3 位は除く）

78.	幼年男女混合【級の区分けなし】	89.	小学 5 年男子 上級（4 級緑帯～有段）
79.	小学 1 年男子【級の区分けなし】	90.	小学 6 年男子 初中級（無級白帯～5 級黄帯）
80.	小学 2 年男子【級の区分けなし】	91.	小学 6 年男子 上級（4 級緑帯～有段）
81.	小学 1･2 年女子【級の区分けなし】	92.	小学 5･6 年女子 初級（無級白帯～7 級青帯）
82.	小学 3 年男子 初級（無級白帯～9 級オレンジ帯）	93.	小学 5･6 年女子 中上級（6 級黄帯～有段）
83.	小学 3 年男子 中上級（8 級青帯～有段）	94.	中学男子軽中量級(50kg 未満)
84.	小学 4 年男子 初級（無級白帯～7 級青帯）	95.	中学男子重量級(50kg 以上)
85.	小学 4 年男子 中上級（6 級黄帯～有段）	96.	中学女子
86.	小学 3･4 年女子 初級（無級白帯～7 級青帯）	97.	高校男子軽中量級(60kg 未満)
87.	小学 3･4 年女子 中上級（6 級黄帯～有段）	98.	高校男子重量級(60kg 以上)
88.	小学 5 年男子 初中級（無級白帯～5 級黄帯）	99.	高校女子

＊参加人数によりクラスの統廃合を行う場合があります。予めご了承ください。

★硬式空手 2 ウェイシステム（硬式空手ルール・４人制トーナメント全員表彰）
＊一社)全日本硬式空手道連盟ルール規定に準ずる。
出場資格：未だ優勝、準優勝、3 位入賞経験の無い選手が対象
(2 ウェイシステムでの入賞経験や一回勝っただけの優勝、準優勝、3 位は除く）

100.	幼年男女混合（硬式空手２ウェイシステム）	109.	高校男子（硬式空手２ウェイシステム）
101.	小学１年男子（硬式空手２ウェイシステム）	110.	小学１年女子（硬式空手２ウェイシステム）
102.	小学２年男子（硬式空手２ウェイシステム）	111.	小学２年女子（硬式空手２ウェイシステム）
103.	小学３年男子（硬式空手２ウェイシステム）	112.	小学３年女子（硬式空手２ウェイシステム）
104.	小学４年男子（硬式空手２ウェイシステム）	113.	小学４年女子（硬式空手２ウェイシステム）
105.	小学５年男子（硬式空手２ウェイシステム）	114.	小学５年女子（硬式空手２ウェイシステム）
106.	小学６年男子（硬式空手２ウェイシステム）	115.	小学６年女子（硬式空手２ウェイシステム）
107.	中学１年男子（硬式空手２ウェイシステム）	116.	中学女子（硬式空手２ウェイシステム）
108.	中学 2~3 年男子（硬式空手２ウェイシステム）	117.	高校女子（硬式空手２ウェイシステム）

＊参加人数によりクラスの統廃合を行う場合があります。予めご了承ください。

★ケイオス-MAX（K-プロ面着用立技打撃アマチュアルール）

118.	幼児男女混合	122.	小学４年男子	126.	小学１～２年女子
119.	小学１年男子	123.	小学５年男子	127.	小学３～４年女子
120.	小学２年男子	124.	小学６年男子	128.	小学５~６年女子
121.	小学３年男子	125.	中学男子	129.	中学女子

＊参加人数によりクラスの統廃合を行う場合があります。予めご了承ください。

― 試合規約 ―
【フルコンコンタクト空手ルール】

組手の勝者は、一本勝・判定勝ち・相手の反則ないし失格による勝ちにより決定される。

試合時間	一回戦～準々決勝	● 幼年、小学生、中学生、高校生クラス、マスターズ 本戦(1 分 30 秒)→延長(1 分) →マスト方式による判定(体重判定は行わない) ● 一般女子･一般男子色帯クラス・一般男子上級クラス 本戦(2 分)→延長(1 分) →マスト方式による判定(体重判定は行わない)
	準決勝、決勝戦	再延長１分あり→マスト方式による判定(体重判定は行わない)

１．　一本勝ち(技あり２本で一本)　反則箇所を除いて、突き・蹴り・肘打ち等を瞬間的に決め、相手を３秒以上ダウンさせるか、相手が試合続行不可能となった場合。
３秒以内に立ち上った場合は「技あり」。
上段蹴り、胴廻し回転蹴りがノーガードの相手に的確に当った場合は技あり、触れただけや、押したような蹴りは技ありを取らない。

２．　判定基準
Ａ．定められた時間内で勝敗が決着しない場合は、有効打数優勢に試合を進めたか、減点等の総合判定を主審、副審が行い、過半数を支持された者が勝者となる。
Ｂ．一回戦～準々決勝戦までは延長戦でマスト方式、準決勝･決勝戦は再延長戦でマスト方式により勝敗を決する。体重判定は行わないものとする。
Ｃ．「注意」「減点」「技あり」の力関係
注意２＝減点１　減点１を受けている場合は負けとなる。
減点１＜技あり　減点１を受けていても技ありを取っている場合は勝ちとなる。
注意４で失格。
Ｄ．本戦での注意、減点は延長戦には持ち越されない。

３．　反則
Ａ．反則は悪質なものを除き、注意が与えられ、注意４で失格となる。
Ｂ．拳・肘による顔面殴打。
Ｃ．金的蹴り、貫手による顔面・首・頭突きの攻撃。
Ｄ．ダウンした相手に当てたり、蹴ったとき。
Ｅ．以上の他審判員が特に反則とみなしたとき。
Ｆ．相手をつかんだ時。
Ｇ．主審判断により、特に悪質な試合態度とみなされた時。
Ｈ．掌底または拳で押すこと。
Ｉ．相手を抱えたままの攻撃。先に抱えた方が反則(相手の脇に腕を入れての攻撃も不可)
Ｊ．一般部は膝蹴りの際の瞬間的なヒッカケは可、但し連続で行うことは、不可。
小中高校生のつかみ・ヒッカケはすべて反則。
Ｋ．技のかけ逃げ、自ら技をかけているように見せ、倒れ、相手に攻撃させない。
Ｌ．頭をつけての攻撃はバッティングの反則
Ｍ. 幼年・小学生の<u>上段膝蹴りは安全性考慮のため反則</u>。中学生以上は認める。

４．　失格
Ａ．試合中、審判員の指示に従わない時。
Ｂ．出場時刻に遅れたり、出場しないとき。
Ｃ．見合ったままでの状態で１分以上経過した時。
Ｄ．粗暴な振るまい、悪質な試合態度とみなされたとき。
Ｅ．注意を４回受けた時。
Ｆ．セコンド及び選手が相手選手や特に審判に対してヤジった場合、
その選手だけでなく団体を即刻退場とする。
Ｇ．軽量級、中量級で体重オーバーの際、減点か失格。

５．　正当な理由なくして試合を放棄した時。但し下記の場合は例外とする。
Ａ．大会主治医の診察を受け、その結果、試合続行不可能と見なされた時。
Ｂ．試合直前または試合中、本人に関する不慮の事故(家族に何か不幸が生じた場合など)が発生し、審判長・審議委員長が協議の上、退場を許可した時。
Ｃ．正当な理由なく試合を棄権及び放棄した場合は、違約金１０万円を申し受けます。
Ｄ．交流試合の為、審判によって下された判定に対する審議等の申し入れは一切できないこととします。

６．　防具
Ａ．　幼年・小学生、中学生、高校生クラスはヘッドギア、拳サポーター、レッグサポーター、ファールカップ着用、中学生以上は膝サポーター着用を義務付ける。
Ｂ．中学・高校女子はイサミのチェストプロテクター着用(小学校女子３年生から６年生は任意で着用）。
Ｃ．一般色帯・一般女子・マスターズはパンチンググローブ(親指のみフィンガーカットグローブ可。オープンフィンガーグローブ、拳サポーターは不可）、レッグサポーター、ファールカップ着用を義務付ける。
Ｄ．防具は各自で用意してください。指定防具と同類の物であれば選手個人の防具を使用可能です。
＊(拳・足 甲サポーターは中身がスポンジ製で表は布製のものを使用)。
Ｅ．各クラス共テーピングは可。過度のテーピングは不可。バンテージの着用は不可。
Ｆ．レッグサポーター内のプラスチックパットは禁止。つけて試合を行ったら失格。
Ｇ．一般上級クラス出場者は素手素足のうえファウルカップ着用のこと。

【型ルール】※一社)全日本硬式空手道連盟ルール規定に準ずる
＊予選は時間制限あり
一回戦～準々決勝１分まで、準決勝・決勝は時間無制限
①正確さ（手の握り・目付き・下半身のふらつきなど）
②気合・気迫
③優美さ
④緩急
⑤難易度　の５項目から判定をする。判定は審判３名による旗判定とする。
※試合形式はトーナメント方式で行う。※創作型は禁止、茶髪･金髪は禁止、必ず清潔な空手着を着用してください。

【ケイオス MAX ルール】
《カテゴリー規定》
◎一般部
軽量級 65kg 未満　中量級 72kg 未満　重量級 72kg 以上　各ワンマッチ、トーナメント
◎少年部
＊小学生,中学生,高校生各学年別トーナメント
＊体重別規定あり
◎女子部　2 階級制
◎シニア　年齢別、体重別

《試合時間規定》
◎少年部(小学,中学,高校生)　本戦 1 分 30 秒、延長 1 分（マスト判定）決勝戦のみ再延長戦 1 分（マスト方式）
◎一般,女子,シニア　本戦 2 分　延長 1 分（マスト判定）決勝戦のみ再延長戦 1 分（マスト方式）

《有効ポイント規定》
＊先取り 7 ポイント勝ち　＊同ポイントの際は判定
1. 上段突き 2 連打 2 ポイント
2. 上段突き 3 連打 3 ポイント
ダウンは 4 ポイント　ダウン 2 回で 1 本勝ち
3. 上段蹴り 3 ポイント
4. 中段蹴り 0 ポイント ＊中段蹴りは基本ダメージを取る
5. 相手を倒し決めのポーズ 1 ポイント
6. 上段単発突打はノーポイント(単突き打を当て蹲踞の構えをしてもノーポイント)
7. 中段への打撃攻撃に関してはポイントは取らない
＊ダメージのみ有効とする。
8. ダメージは技あり 3 ポイント　技あり×2 で一本勝ち

《1 本勝ち》
技あり 2 回で 1 本勝ち

《禁止技》
1. フック、アッパー禁止　＊コンビネーションのロングフックのみ可
2. バックスピンチョップ禁止
3. 肘打ち禁止
4. 掴み、投げ、抱える行為禁止
5. 後ろからの攻撃禁止
6. 頭突き
7. ヘルメットを掴む行為
8. 主審が危険と認めた行為

《注意,減点マイナスポイント》
＊注意 1 で 1 ポイント相手へ
＊注意 2 で減点 1
＊減点 1 で 3 ポイント相手へ
＊注意 3 で減点 2
＊減点 2 で失格

《服装その他規定》
空手着上下と帯着用　女子は T シャツ着用
タトゥーが有る場合 T シャツ,ラッシュガードを着用

《防具規定》
一般,少年,女子,シニアは K-プロテクター面着用(スーパーセーフ面可)
指定拳サポーター、足甲サポーター、ファウルカップ着用義務(鉄製ファウルカップ禁止)
テーピング、バンテージ、包帯禁止、金属製ファウルカップ使用禁止

【硬式空手ルール】（全日本硬式空手道連盟審判規定に準拠して行う）

≪注意事項≫

・防具の貸し出しはありません。参加者が各自持参してください。
・面：Kプロテクター、空手面、スーパーセーフのいずれか。類似品可。
・胴：Kプロテクター、スーパーセーフ（類似品可）
　※自身の体に合ったサイズを着用すること(全硬連規程サイズ)。
・拳サポーター：全硬連指定の拳サポーター、または布製のもの。
・脚サポーター：白で布製のものを着用すること。
・男子は必ずファールカップを着用すること。
・参加人数により、クラスの統廃合があります。

≪試合時間≫

<table>
<tr><th colspan="2">クラス</th><th>時間</th><th>延長戦</th><th>試合</th></tr>
<tr><td>幼年の部</td><td>男女混合</td><td rowspan="2">1分30秒</td><td rowspan="2">延長戦まで1分
(決勝のみ再延長あり)</td><td rowspan="4">1本勝負</td></tr>
<tr><td>小学生・中学生</td><td rowspan="2">学年ごと男女別</td></tr>
<tr><td>高校生</td><td rowspan="2">2分</td><td rowspan="2">延長戦まで1分30秒
(決勝のみ再延長あり)</td></tr>
<tr><td>一般</td><td>有級：全国選抜なし（男女別）
一般：有級及び有段（男女別）
シニア：40歳以上（男女別）</td></tr>
</table>

※勝負は１本勝ち、または判定、或いは反則、失格等により決定します。

（勝負）

１．勝負は１本、あるいは判定による勝ち、或いは反則、失格による負けによって決定する。
２．ポイントにおいては、ポイントの多い方を勝ちとする（５ポイントの差が生じたときは、１本となり試合は終了とする)。
３．攻撃目標は、次のとおりとする。
　（１） 安全防具面部（面部の顔面部及び顔面部から耳側部の部分）
　（２） 安全防具胴部（胸部と腹部及び防具の側面）

（１本及び技有りの判定基準）

１．１本及び技有りの判定は次の各項による。
２．以下の場合は１本とする。
　(1) 基本的な正しい姿勢、かつ充実した気迫と適正なる間合いで有効な威力ある突き、蹴り、打ち、当てが定められた部位（相手の顔面、中段胸部と腹部）に十分コントロールして当て、極め、相手のバランスを崩し、倒し、残心を示した場合。
　(2) ３連続技が確実に極まった場合（３連続技とは相手に技有りを３本連取し、その間相手の技有りを挟まない場合)。
　(3) ５ポイントの差が生じた場合。
　(4) 打撃技のダメージにより体がふらついている場合。
３．技有りは、前項で決められた技で、１本に近い技である場合を技有りとする。この場合、上段の蹴り技は２ポイント、それ以外の技は１ポイントとする。
４．また、相手が転倒した際（足払いに因らない転倒を含む）に、瞬間的に寸止めを極めた場合は、技有りとする。その際、完全制圧した場合（相手が仰向けになった場合等）は２ポイント、それに準じる場合は１ポイントとする。
５．主審の「止め」の合図の後の技は一切認めない。但し、「止め」の合図と同時にかけた有効な技は認める。
６．試合者双方が場外に出た時かけた技は無効とする。但し、攻撃した者が瞬間場内にあり、主審の「止め」の合図の前にかけた有効な技は認める。
７．次の場合は十分であっても１本と認めない。
　・相手をつかんだ時（空手衣・安全防具）

（優劣の判定基準）

１．試合時間内に１本、技有り、反則、失格負けの無い時は監査役、主審、副審が協議のうえ、次の各項により総合的に優劣を判定する。
２．技有りに近い技の有無
３．反則注意の有無
４．逃避の有無
５．試合態度の優劣
６．技術の優劣
７．気迫戦意の度合
８．攻撃、手数の多少

９．戦術の優劣

（禁止事項）

１．禁止される技は次のとおりとする。
２．安全防具以外の部位への直接加撃
３．股間部への加撃（金的）
４．背面への直接加撃
５．転倒者への直接加撃
６．下肢への蹴り技（足底での足払いは可、足甲での蹴りは不可）
７．投げ技（但し、相手を掴まずに崩すことは可）
８．バックハンド
９．関節技
１０．　頭部への膝蹴り
１１．　手や腕で相手の頭を引き寄せての加撃
１２．　開手技（中学生以下の場合）
１３．　禁止される行為
(1) 極端な場外逃避、時間を空費するための行為
(2) 掴んだり組み付いたり、或いは暴力的な体当たり
(3) 罵倒、挑発的言動、相手の人格を無視するような言動、態度
(4) 技を決めた後、故意に試合場内を逃げ回ること
(5) 無防備

（反則等）

１．禁止事項を犯そうとしたり、又は犯したときは主審により反則注意を宣せられる。反則注意後、更に注意されるような事を犯すと反則負けとなる。
２．軽微な反則については最初「警告」とし、その後反則をした場合「反則注意」の宣言を受け相手方に技有り（１ポイント）を与える。但し、反則行為が明らかに計画的で執拗を極めた場合は相手方に反則勝ちを与える。
３．場外は１度目から場外の宣告をし、相手方に技有り（１ポイント）を与える。場外とは、片足１足がコートラインから外に出た場合を言う。
４．次の場合は、直ちに失格を宣せられ負けとなる。この場合、監査役、主審、副審協議により、審判長の決裁を受け、以後の試合の出場停止をさせられる事もある。
(1) 空手道の権威を失墜する行為のあった時
(2) 試合中審判の指示に従わぬ時
(3) 極端に興奮し、試合続行上有害と認められた時
(4) 禁止事項を故意に無視する悪質な行為と認められた時
(5) その他、この審判規定に定めた事項に違反していると認められた時

【フルコンタクト空手ルール　指定防具一覧】

感染症対策のため、大会側での防具の貸出しは行いません。必ず出場選手が各自用意してください。
フルコンタクト空手ルールの拳サポーターのメーカー指定はありません。

■ヘッドガード金網面(幼年~高校生)
プラスチック面も使用可
メーカーの指定無し

■ヘッドガード飛沫防止マウスシールド(任意)
メーカーの指定無し

■拳サポーター(幼年~高校生)
フルコンタクト用拳サポーター
メーカーの指定無し

■パンチンググローブ(一般)
メーカーの指定無し

【フルコンタクト空手ルール･硬式空手ルール･ケイオス MAX ルール共通防具一覧】

感染症対策のため、大会側での防具の貸出しは行いません。必ず出場選手が各自用意してください。
※メーカーの指定はありません。　※防具付き硬式空手ルールは膝サポーターの必要はありません。

■布製レッグガード

■布製膝サポーター

■ファールカップ

■女性用チェストガード
(中学生以上着用義務)

■女性用アンダーガード
（着用任意）

※足甲サポーター（ウレタン制不可）《基本スポンジタイプ採用》
※ファウルカップ（プラスチック製）《ムエタイ等鉄製不可)

【硬式(防具付き)空手ルール　指定防具一覧】

感染症対策のため、大会側での防具の貸出しは行いません。必ず出場選手が各自用意してください。

■布製拳サポーター
メーカーの指定なし

■拳サポーター(幼年~一般)
全日本硬式空手道連盟公認

■K プロテクター（マーシャルワールド製)
■スーパーセーフ面使用可

■ K ボディープロテクター
マーシャルワールド製

■ 胴プロテクター（硬質不可）
メーカーの指定なし

●防具規定

・K-プロテクターヘッドガード（マーシャルワールド製）《スーパーセーフ面使用可》
・拳サポーター（硬質使用不可、全空連寸止め用使用不可）布製のみ使用可。
・足甲サポーター（ウレタン制不可）《基本スポンジタイプ採用》
・胴 （硬式マーシャルワールド製）《テコンドー胴可,硬質不可)
・ファウルカップ（プラスチック製）《ムエタイ等鉄製不可)

第１回全日本硬式空手道＆フルコン空手道選手権大会
’26 拳真祭ワールド空手グランプリ
参加申込書

大会最高審判長　羽山威行　殿

私儀、上記の通り相違いなく、また本大会のルールに従い正々堂々と競技することをここに誓います。万一試合中の事故、ケガがあった時、主催者側及び誰にも責任の所在を問うものでない事を誓約致します。

(未成年者の場合)保護者氏名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿㊞　日付　／

(本人)氏名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿㊞　日付　／

団体・道場名：

ふりがな
代表者名：　　㊞　　役職名：

道場住所　〒

携帯電話　　TEL　　FAX

※(必須)メールアドレス

ふりがな		性別　男・女	年齢　　歳
氏名		昭和･平成･令和　　年　　月　　日生	
住所　〒 電話番号　　携帯番号			
身長　　cm	体重　　kg	学年　　年生	
級・段位	帯色	備考欄	
出場部門（〇で囲んでください） フルコンタクト空手・硬式空手・型 2 ウェイ(フルコン)・2 ウェイ(硬式空手) ケイオス-MAX ※ダブルエントリー選手は申込書 2 枚提出	出場 種目番号	出場 種目名	
修行年数及び過去の大会入賞実績（詳しく記載ください） ＿＿年＿＿ヶ月		スポーツ保険加入チェック欄 （〇で囲んでください） 未加入者は出場できません **有 ・ 無**	

→集計表として参加申込書と一緒に提出してください。

「第１回全日本硬式空手道＆フルコン空手道選手権大会」

「‘26 拳真祭ワールド空手グランプリ」

開催日:2026 年 1 月 31 日(土)　場所：東京武道館１F 大武道場　　記入日 2025 年　　月　　日

団体名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　代表者名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

電話＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

大会規定により、下記選手の出場参加費を添えて申し込みます。

※全選手(幼稚園も含む)身長･体重を必ず記入してください。

■上記代表者の方は御出欠の有無をお願い致します。

（ 御出席 ・ 御欠席 ）必ず〇で囲んでください。

※御出席いただける代表者様は 10:30 開会式の際、本部席にご着席をお願い致します。

※代表者様の昼食と飲み物をご用意しております。

No.	氏　名	男女	種目番号	出場クラス名	学年	身長	体重	級･段位
1		男・女						
2		男・女						
3		男・女						
4		男・女						
5		男・女						
6		男・女						
7		男・女						
8		男・女						
9		男・女						
10		男・女						
11		男・女						
12		男・女						
13		男・女						
14		男・女						
15		男・女						
16		男・女						
17		男・女						
18		男・女						
19		男・女						
20		男・女						

「第１回全日本硬式空手道＆フルコン空手道選手権大会」
「‘26 拳真祭ワールド空手グランプリ」

審判員派遣協力依頼書

今大会も、判定のミスを少しでも防ぐ意味と公平な判定を心がける為、また円滑な大会運営の為、参加道場の指導員、先生方と関係者の皆様にフルコンタクト空手ルール審判員と型審判員、硬式空手審判員のご協力をお願いしたいと思っております。遠方からの参加団体や選手が多数出場される道場はスタッフ・応援不足となりご迷惑をおかけしますが、何卒ご協力いただけますよう宜しくお願い致します。

ご協力願える場合は12月15日(月)まで大会申込書と一緒にこちらの用紙をお送りください。

※フルコンタクト空手ルールは主審と副審が一緒に判定する同時上げを採用します。

※人数が足りない場合は追加でお願いすることがあります。

※ご協力頂いた審判員の方には謝礼を出させて頂きます。お弁当と飲物をご用意しております。

集合時間　　１月３１日（土）９：３０集合

会場名　　東京武道館１F大武道場

持参品　　ホイッスル

服装　　白ワイシャツ、黒または紺のスラックス、ネクタイ着用（ネクタイは貸出し致します）

貴道場名	

氏名（年齢）	可能な方に〇をしてください	段位
（　）	フルコンタクト　主審・副審 型　主審・副審 硬式空手　主審・副審	
（　）	フルコンタクト　主審・副審 型　主審・副審 硬式空手　主審・副審	
（　）	フルコンタクト　主審・副審 型　主審・副審 硬式空手　主審・副審	
（　）	フルコンタクト　主審・副審 型　主審・副審 硬式空手　主審・副審	
（　）	フルコンタクト　主審・副審 型　主審・副審 硬式空手　主審・副審	
（　）	フルコンタクト　主審・副審 型　主審・副審 硬式空手　主審・副審	

・締め切り　１２月１５日（月）までにお願いいたします

・返信先　　国際ＦＳＡ拳真館総本部　担当：佐藤宛

・メール　　m-satou.rb@hotmail.co.jp

賛助用紙

「第１回全日本硬式空手道＆フルコン空手道選手権大会」
「‘26 拳真祭ワールド空手グランプリ」

Ａ　寄付ご賛助（　　口　　円）＜一口 １０,０００円＞

＊ご寄付下さいました方は、大会参与としてプログラムの大会役員欄にお名前をご掲載させて頂きます。

Ｂ　広告ご賛助（　　円）

＊右を参考にお決め下さい。
なおプログラムはＡ４サイズです。

１．１ページ　　￥５０,０００
２．1/2 ページ　￥３０,０００
３．1/3 ページ　￥１０,０００
４．1/4 ページ　￥５,０００

（１～４の数字のどれかに○をつけて下さい）

Ｃ　特別広告ご賛助（　　円）

１．裏表紙　　（1ﾍﾟｰｼﾞ）￥２５０,０００
２．表紙裏　　（1ﾍﾟｰｼﾞ）￥２００,０００
３．表紙裏の隣（1ﾍﾟｰｼﾞ）￥２００,０００
４．裏表紙裏　（1ﾍﾟｰｼﾞ）￥１５０,０００
５．裏表紙裏の隣（1ﾍﾟｰｼﾞ）￥１５０,０００

（１～５の数字のどれかに○をつけて下さい）

＊特別広告は各１ページ、一名ずつですのでご注意下さい。なお、ご賛助下さいました方は、プログラムにお名前を、また、特別広告ご賛助の方は、よろしければお名前とお写真、ご挨拶をご掲載させて頂きたいと思います。

☆以上Ａ、Ｂ、Ｃいずれかに○を付け、（　　円）内にご記入の上、広告賛助にご協力下さいます方は名刺、版下、原稿(ロゴマークの有無に関らず対応致します)、手書きのメモ等をこの賛助用紙、及び現金と共に大会実行委員会まで現金書留にてご郵送下さるか、直接、支部長または道場生にお渡し下さい。その他、何かありましたら直接、大会実行委員会までご連絡下さい。

ご芳名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

ご住所＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿TEL＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

会場へのアクセス方法

住所・交通

[東京武道館 1F 大武道場]
所在地：〒120-0005 東京都足立区綾瀬 3-20-1
TEL：03-5697-2111

■交通機関：
「新宿駅」から JR 山手線に乗り、「西日暮里駅」で東京メトロ千代田線に乗り換えて
「綾瀬駅」へ。「綾瀬駅」から徒歩 5 分で東京武道館です。